

その他の建築工事業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	溜桷設置工事現場へ持って行く溜桷（500×500、30kg）を工業の資材置場でトラックに積み込む作業中、溜桷を持ちあげた時に腰が、ギクッとして急に痛みがきて、動けなくなり腰を痛めました。	44～9	1
1	13～14	現場巡視時の既存建物移動中、床リノリウムの上で左足が滑り、右足はたまたま仕切り壁を撤去した跡の地下材が残った溝の上にあって、滑らず固定された状態になり、右足首にひねりが生じて右足のくるぶし部を受傷した。	43	—
1	9～10	土壁の解体中、壁を押し崩そうと両手に力を入れた際、首の左側に激痛がはした。	24	—
1	9～10	外壁張り替え工事において作業するにあたり、外壁横のカーポートの屋根（重さ約60kg程、縦約5m、横約3m、高さ約2.5m）を傷つけてはいけないのと作業しやすいように、屋根だけ外し30m程移動させるため、脚立（約1.5m）の上から2段目にまたがり屋根の枠のアルミパイプを右肩で担ぎ、反対側ではブロック塀に乗って二人で持ち上げようとした時、脚立の上で作業していた者が首・肩・胸に激痛があり肩胛骨が腫れてきた。	28	—
1	6～7	当社資材置き場にて、パイプ（塩ビ製、直径9cm、長さ4m、三本括り、重さ20kg）を車の出入りの邪魔にならない所へ2人で移動させ、地面に下ろし終わり、立ち上がろうとしたとき、腰が痛くて立てなくなった。	29～9	1
1	13～14	外部足場から建物2階にある外部ステージへ移る際、外部ステージに設置されている柵を乗り越えて降り、外部ステージの足元に一度上がったが、敷板の周りが凹んでおり、その凹んである部分に足をついた際に足を捻った。	25～9	1

2	17~18	1tトラックの荷台の高圧洗浄機の水を抜くため、傾けた際、荷台から落ちそうになって体を支えようと足を踏ん張った結果左足膝裏を負傷した。	59	—
2	10~11	ガードフェンス撤去作業中、フェンス用鋳物ベース（10kg）を持ち上げた時に腰を痛めた。	40	—
3	21~22	会社の資材置場にて資材の整理中に、資材（ブラケット10本、約20kg）を右手で持ち上げた際に、バキッと音がして右肩に急激な痛みがはしり負傷した。	24	—
3	17~18	店舗塗装工事を終えて、資材（重さ約20kg）の搬入搬出作業中、段差に気づかず足を滑らせたとき、左膝に重心が掛かってしまい痛みが生じた。痛みはあるが我慢して作業を終えたところ、後日に激しい痛みに変化した。	41	1 ~ 9
3	11~12	内装改修工事の作業中、天井ベニヤ張りを終え脚立から降りたときに右足首をひねり、骨折を負った。	75	1 ~ 9
3	16~17	工場南面塗装工事にて足場をかけている際、足場材を立てて持ったときに右腕にズキッと痛みを感じた。	66	1 ~ 9
3	10~11	自宅作業場で約6mの梁を担いでトラックにのせようとしたところ、右ひざに痛みを覚え、そのまま立てなくなった。	39	1 ~ 9
3	17~18	改修工事現場にて、バックホウにて土間コンクリートを解体中、同じ作業を繰り返して行っていたため、作業終了時に左腕の肘に違和感が生じた。	50	10 ~ 29
3	15~16	現場作業が終わり倉庫に戻ってきて、作業で使用したモルタルポンプ（1300×500×750mm、240kg）を移動中に手を滑らせ、右腕でとっさに押さえたため負担がかかり、右腕筋を挫傷した。	42	1 ~ 9
3	11~12	工事現場内にて片付け作業及びゴミ清掃時、集木マスの奥に埋まっていたゴミを引っ張りあげようと無理な姿勢で作業していた時、右足に痛みを感じたが、そのまま作業を続けたところ激痛になり、歩けなくなってしまった。	54	10 ~ 29

3	1~2	リフォーム工事現場にて浴室解体作業中、1人でカー杯浴槽を引き上げようとした時、右肩からグジュと音がし、右肩腱板断裂を負った。	59	1 ~ 9
3	8~9	屋根の上で瓦撤去作業中、鬼瓦を持ち上げようとした際に、力を入れようと力んだため腰を痛めた。	40	1 ~ 9
3	15~16	仕事の資材や道具を保管してある倉庫にて、使い終わった塗料の入っていた丸い空カン（20×20cm）を道具を使って踏み潰そうとした時、空カンが横にずれ、本人もバランスを崩して右方向に倒れ、右肘関節を脱臼した。	36	1 ~ 9
4	14~ 15	重機への移動中、鉄板の段差で躓きバランスを崩し、左足で踏ん張った際に左足付け根を捻り受傷した。原因は、作業通路でなく車路を歩いていたためである。鉄板の段差は40mmであり、注意不足によるものと考えられる。	66	30 ~ 49
4	13~ 14	屋根改修工事中に、8尺のカラータンを屋根から脚立に乗っている被災者に手わたした時、予想以上にカラータンが重く、脚立の上でふんばったがカラータンを後ろ側に落としてしまった。その際に体勢がくの字に曲がり、首から肩にかけて筋を伸ばした。	35	1 ~ 9
4	11~ 12	屋根修繕工事現場（屋根上）において、古い日本瓦を取り除き、簡易リフトに載せようと身体をひねった際に、腰部に激痛が走りその場にうずくまってしまった。同僚と一緒に地上に降り、その日は安静にしていたが痛みが治まらなかった。	43	1 ~ 9
5	16~ 17	建築足場の設置研修中、誤って段差（舗装敷地にあった部材）で左足を捻り負傷した。	20	1 ~ 9
5	13~ 14	自社倉庫で荷台上の機材（約1t）をチェーンブロックを使用して降ろす際に手狭な場所での作業であったため、不自然な体勢となり、腰を痛めた。	31	10 ~ 29
5	14~ 15	市営住宅第4期立替工事（電気1工区）現場にて、1階部分で脚立（6尺）を使用しボックス建込配管作業中に、次の箇所へ移動しようとして脚立から降りる最中に balan	39	10 ~

		スを崩し、横の壁配筋に右手小指をついて捻り、右小指中節骨骨折を負った。		29
6	8~9	作業車に足場部材の積み込み作業中、アンチと呼ばれる足場部材（1枚あたり重さ12~13kg）を4枚まとめて（計50kg位）肩の上に担ぎ上げるように勢いよく上げた瞬間に、腰に急激な力の作用が負荷され、激しい痛みを覚えた。	23	1 ~ 9
6	15~ 16	個人宅耐震工事において、瓦を屋根へ運ぶ作業を続けていたところ、何往復目かの時に、ガラ袋を背負った際に痛みがはしった。その後も仕事を続けたが痛みが引かず、翌日からは仕事を休み様子を見たが、痛みがどんどん激しくなっていた。	62	1 ~ 9
6	10~ 11	9階で内装解体材の片付け作業を行った後、休憩に入るため階段で詰所へ向かった。1階と2階の間踊り場（W1200mm）で段差があると気づかず、2段（踏面270mm×蹴上175mm）を踏み外した。その際に左足首を捻り、大きな痛みを感じてその場にうずくまった。後から降りてきた共同作業者に発見され、共に休憩所へ戻った。休憩所に戻り、職長に報告した。	57	10 ~ 29
6	14~ 15	墓石工事で石材を持ち上げた際、首肩を捻り、通院した。	41	1 ~ 9
6	15~ 16	個人宅解体・土間工事において、3tダンプでコンプレッサーを返却しに行き、コンプレッサーを降ろすためにダンプのサイドのアオリを倒していたので、返却後、そのアオリを元に戻すため、勢いをつけて持ち上げたところ、右肩に激痛がはしり負傷した。	55	1 ~ 9
7	9~10	ヤード内で部材整理中、体から離れた場所にある、公板F-4018を3枚一気に持とうと足を踏んばったところ腰を痛めた。F-4018タテ40cmヨコ180cm厚さ5cm重さ12.3kg	35	10 ~ 29
7	11~12	被災者は、リサイクルセンター容器処理施設解体室にて、フォークリフトを走行させるための鋼板（118kg/枚）を解体室入口で、台車から降ろす作業をしていた。作業員4名で作業を行っていたが、被災者は、台車から鋼板を降ろす際に、腰に痛みを感じた。休憩後も腰痛が治まらなく、腰臀捻挫と診断された。	39	1 ~ 9
		お客様の屋根の上で屋根塗装中、左足首をくじいた。痛みもひどくなくそのまま治		1

7	15~16	るものと思っていたが、やはり少し違和感を覚えた。	29	~ 9
7	9~10	8キロぐらいの手荷物を落ち、スラブから隣の屋根に上がるため脚立に足を掛け隣に移る時に左ヒザの左側部分にプチッと何かが切れるような音がして、その場にうずくまり歩行不能となった。	52	~ 9
7	7~8	朝現場に出発する前の準備中、トラック荷台よりエアコンを降ろすときに、腰に負担がかかり痛めてしまった。	44	~ 29
7	9~10	資材センター内において、トラックから降りて荷を確認する為に歩行していたときに躓き、右足首を負傷した。	51	~ 9
9	7~8	発注された戸建て建売新築工事現場に材料等を持って行く為、資材置き場において、約20kgある道具箱を両手で積み込み作業中、勢いよく持ち上げたら、思っていた以上に重くバランスを崩して踏ん張った際に腰に負担がかかり、腰から背中にかけて激痛が走り負傷する。	34	~ 9
9	16~17	コンクリートポンプ車、車庫にてポンプ車下部洗浄ボックス水抜き穴より水を抜く為ト口箱を置き作業し、ト口箱を下部より（水が少々入っていた）左手で引き出そうとした時、ト口箱が引っかかって出なかったので押し引きを繰り返し行っていた時、左肩に痛みがはしり負傷した。	57	~ 29
10	10~11	当日は、複数の作業現場を廻り、作業内容は重量物の運搬（足場材、木材等）その他、中腰体勢（木の修繕等）の作業も加わり腰に負担がかかり痛める。	67	~ 9
10	15~16	公園改修工事現場にて、左手に防水材料を持ち、建物東面の昇降足場6階付近を移動中、転倒しそうになり、右手で足場を掴んだところ負傷。	34	~ 9
10	16~17	会社資材置き場において資材整理をするため敷地内を歩いて移動していた時、地面に敷いてあった敷鉄版（500×150×2.5cm）の段差に躓きバランスを崩し、右足首	54	~

		を捻り負傷したもの。		9
10	16～ 17	現場での仕事を終了し、車で会社に戻り会社の作業場において、車から電動工具を降ろそうとした際、腰に激痛が生じ、動けない状態になった。	39	1～ 9
10	8～9	当社倉庫内で倉庫整理作業中、板金の21m巻き平板コイル（幅914mm、重さ約20kg）を移動しようと両手でコイルの端を持って持ち上げ、運ぼうと足を踏ん張った際にふくらはぎが肉離れを起こしたものの。	53	10～ 29
10	14～ 15	会社事務所（エンジニアリング部）の外のエアコンプラベースの手直し等をするため、エアコン室外機を移動させる際に約30センチの高さブロック（フェンス基礎）を右足でまたぎ左足で段差約2センチのところ（右足の接地面との段差約30センチあり）で踏ん張った際に、約2センチの段差を踏み外し、捻った状態になり負傷した。	55	10～ 29
10	14～ 15	屋根外屋塗装工事の現場で高さ6m高さの足場を移動していたところ、バランスを崩した。屋根と足場の間に落ちないように、屋根に左足を伸ばした際左足首を捻り負傷した。	51	1～ 9
10	17～ 18	外壁工事作業中に、30kg～40kgのブロックを中腰の姿勢で並べる作業をしていた時に体を捻り腰痛を発生した。その後、建材の配達やサッシの配達業務をしていたが左足に力が入りにくい症状がある状況で仕事を続けていた。そして、業務で2Fの屋根の上に登り太陽熱風呂の設置工事を行う際に無理な姿勢のまま作業を行ったため痛みがひどくなった。	49	30～ 49
11	16～ 17	場内で資材を積み込む際、体勢が悪い状態で持ち上げた為に腰を痛めてしまった。	21	1～ 9
11	15～ 16	住宅雨漏り調査・雨樋交換の高所作業中に足場の上で体勢を崩し、腰を捻り受傷したものである。	49	1～ 9
	16～	事務所敷地内にて、トラックからコンプレッサーを降ろしている最中に足元にあっ		1

11	17	た小さな木材を踏んで、足首を捻った。	34	～ 9
11	16～ 17	テニスコートでフェンス支柱取り替え作業中にフェンス支柱をダンプに積み上げる際、肩に強い痛みを感じ、その後作業を控えた。次の日の朝も痛みが引かない為に通院した。	50	～ 9
12	15～16	自社置場において型枠を整理中（枠の積み上げ作業）に右肩がパキンとなり、急に右肩が痛みだした。	66	～ 29
12	17～18	ロータンクと温水洗浄便座を外すためトイレの狭い空間のなか、止水栓で水を止めようとしたが固く、無理な体勢で腰を捻じりながら力を加えたことにより腰に激痛が走ったが、そのままロータンクと温水洗浄便座を外し風呂場まで運んだ。その後、腰の痛みを耐えながらエアコンも外すなどしたため、悪化した。腰痛の既往歴はない。	48	～ 9
12	12～13	床工事の現場で、材料の角材（約20kg）を運ぼうと床から中腰で持ち上げた際、腰に強い痛みが走った。	35	～ 9
12	16～17	会社資材置場で年末の片づけ作業中、左前輪がパンクしていたダンプカーのタイヤ交換作業をしていた。なかなかタイヤホイールが外れないため、ホイールの穴に指をかけて外そうとしたところ、無理に力が掛かり右手小指を骨折したものである。	64	～ 9
12	9～10	外壁工事の際に、庭石、植木鉢を移動する際に腰を痛めた。	40	～ 9
12	11～12	当社倉庫内において、倉庫整理のため2tトラックに鋼製足場材を積み込んでいたところ、足元の段差に気づかず、足をとられてバランスを崩し腰を捻った。	20	～ 9

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html